

## 令和4年度事業の実績について

### 1 農地中間管理等事業

#### (1) 農地中間管理事業

農地の貸借について令和2年度に作成した「農地中間管理事業における集積3ヶ年計画」に基づき、機構が有するノウハウを活かした取組みを進めた。令和4年度の農地中間管理事業による転貸面積は、1,194ha（前年比17.6%減）となり、「農地中間管理事業における集積3ヶ年計画」の年度目標である1,800～2,000haには届かなかった。

重点的な取組みとして、実質化された「人・農地プラン」の実現に向け、県下全域に新たに機構独自のモデル地区を設置し、地域を担う中心経営体へ農地を集積・集約化する取組みを推進した結果、129haの集積につながった。

令和4年度から新たに熊本県農業法人協会との間に「農地中間管理事業業務委託契約」を結び連携した取組みを開始し、各地域毎に複数の会員法人へ働きかけた結果、15社から他制度等により利用している農地について60haを機構活用へ切替えた。

公社の持つ農地の中間保有機能を活かして、認定研修機関が令和5年4月から実施する研修のための農地として、南阿蘇村の農地4.9haについて農地中間管理権の設定準備事務を行った。

基盤整備事業との連携では、南関町久重南地区及び大津町矢護川地区において、農地中間管理機構関連農地整備事業の次年度採択を目指して農地中間管理権を取得し、また、南阿蘇村立野地区、美里町用米地区、上天草市京の島地区等において、農家負担の軽減策として機構集積協力金を活用した取組みを推進した結果、6地区、97haの集積につながった。

円滑化事業との統合一体化については、承継計画に基づき期間満了を迎えた案件の切替えとともに、合意解約による前倒し案件も併せて145haを承継した。

遊休農地の解消については、補助事業を活用して5ha解消し、担い手への集積を図った。

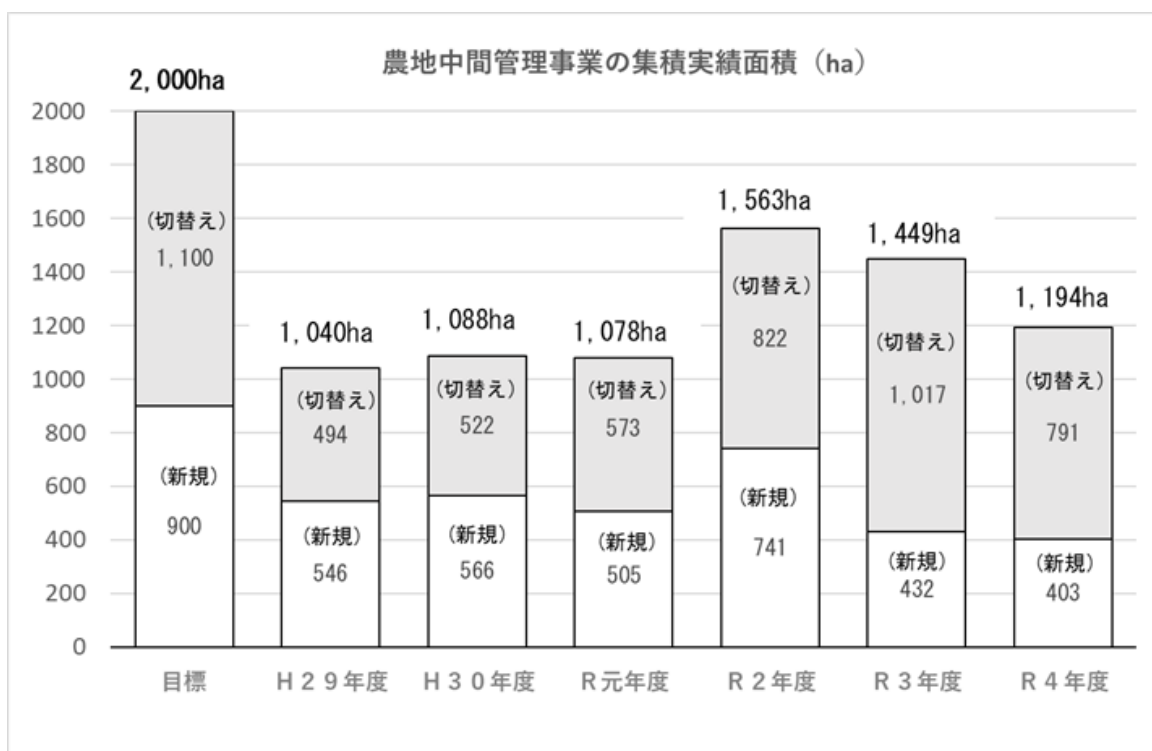
これまでに設置した重点・促進地区において引き続き支援した結果、阿蘇地区において新たに1法人が設立されるとともに、既存の地域営農法人においても新たに166haが集積された。

令和5年4月1日施行の法律改正に向け、各種規程の見直しを行うとともに、市町村、農業委員会、JAとの意見交換会や説明会を開催し、改正内容の周知を図るとともに、農地バンクを軸とした貸借への対応を推進した。

令和2年7月豪雨災害で被災された農地の受け手に対して、一昨年度、昨年度に引き続き、賃借料の免除を行った。（被災申出状況：3市町村3名、免除筆数3筆、面積0.6ha）

(単位: 件, ha)

区 分		R4年度計画		R4年度実績		備 考
		件数	面積	件数	面積	
1 農地の貸借	借入	4,000	2,000	2,771	1,093	
	転貸	2,000	2,000	1,766	1,194	
※うち基盤整備との連携 (国営・県営)		10	140	6	97	



(2) 農地中間管理機構の特例事業（農地売買等事業）

農地の売買面積については、買入が<sup>※</sup>143ha（計画比 124%）、売渡 133ha（計画比 112%）となり、計画を上回る実績となった。

地域別では、球磨地域、阿蘇地域、八代地域、上益城地域、熊本市における買入面積が全体の7割を占めた。

球磨地域においては、葉タバコ・畜産農家、阿蘇地域と菊池地域の大津町では、畜産ならびに水稻を中心とした畜産との複合経営農家、八代地域ではトマト・露地野菜農家、上益城地域では水稻を中心とした畜産との複合経営農家、熊本市では園芸及び果樹農家の取得が多く、全体的に借入地を取得する案件も増加傾向にある。

また、地域農業の中核となる農地所有適格法人への売渡は当年度の全体において47件の14%、面積では29haの22%程度となった。

区 分	R 4 年度計画		R 4 年度実績		計画比 (%)
農地売買等事業	買入	270 件	買入	397 件	147
		115 ha		143 ha	124
		1,150 百万円		920 百万円	80
	売渡	285 件	売渡	328 件	115
	119 ha		133 ha	112	
	1,028 百万円		867 百万円	84	

## 2 新規就農支援事業

新規就農支援センターは、「農業経営基盤強化促進法」及び「農業基盤の強化の促進に関する基本方針(熊本県)」に基づく「青年農業者等育成センター」として知事から認定を受け、就農促進の拠点として、熊本県農業会議とともに就農希望者への就農相談等に取り組んだ。

### (1) 新規就農支援センター機能強化事業

公社に就農相談員を3名、各地域に就農支援アドバイザーを11名配置し、就農希望者の相談に応じるとともに、センター主催等による就農・就業相談会を県内で10回開催した。

また、「新・農業人フェア」を始め県外の相談会に5回(オンライン2回含む)出展し、就農支援活動を行うとともに、ハローワーク熊本での出張相談を22回行った結果、就農相談件数は延べ805件(計画比134%)となった。※SMSを活用した7ターフォロー含む  
就農支援資金については、既融資分の管理回収を行った。

### (2) 新規就農支援助成事業

農業後継者育成基金の運用益を活用、青年農業者や学校農業クラブ、NPO法人等33件の活動を支援し、新規就農者の確保・育成に取り組んだ。

区 分	R4年度計画	R4年度実績
①新規就農支援 センター機能 強化事業	(7)就農相談活動	
	㊦相談件数 600件	805件
	㊧就農相談員の設置 3名	3名
	㊨就農相談会の開催及び参加 38回	37回
	・ 県内(熊本市等) (8回)	(熊本市等) (10回)
	・ 県外(東京、大阪、福岡等) (6回)	(東京、大阪、福岡) (5回)
	・ ハローワーク相談 (24回)	(ハローワーク出張相談) (22回)
	㊩無料職業紹介 10件	2件
	㊪情報の収集・提供	
	・ 関係機関情報交換会 2回	2回
	・ ウェブサイト情報更新 随時	更新回数 302回 SNS更新 29回
・ 教育機関への情報提供 随時	3回	
㊫親元就農Uターン者相談 随時	3回	

区 分	R 4 年度計画	R 4 年度実績	
①新規就農支援 センター機能 強化事業 (再掲)	(イ) 新規就農者育成支援活動 (ア) 就農支援アドバイザーの設置 11 名 (イ) 就農後のフォローアップ 40 回 (ウ) 認定研修機関等との連携 ・ 熊本県就農支援機関協議会 随時 ・ 県立農業大学校等教育機関 随時 (ウ) バスツアーの開催 2 回 (エ) 調査・研修等の活動 随時 (オ) 就農支援資金の管理回収 ・ JA 事務委託、現地調査等 23 件	11 名 162 回 打合せ会議 2 回 連携会議 2 回 集合研修 3 回 2 回 5 回 49 件	
②新規就農支援 助成事業 ※基金運用益 を活用	(ア) 熊本県青年農業者クラブ連絡協 議会活動支援事業 1 件 (イ) 青年農業者海外派遣研修等支援 事業 2 件 (ウ) 学校農業クラブ等地域課題解決 活動支援事業 8 件 (エ) 就農支援機関協議会助成事業 1 件 (オ) 就農準備型研修機関等支援事業 4 件 (カ) 地域新規就農支援組織活動等 支援事業 7 件 (キ) 地方青年農業者クラブ課題解決 活動支援事業 11 件	1 件 2 件 8 件 1 件 3 件 7 件 11 件	

### 3 熊本県農業公園管理運営等事業

熊本県農業公園指定管理（5期目）の1年目となる令和4年度においては、農業公園の理念である県民への農業理解の促進と憩いの場の提供、農業情報の発信等に関するイベントのほか自主イベントなど、新型コロナウイルス感染症の影響が若干残るなか、社会経済活動が正常化へと向かう流れの中で、「春・秋のバラまつり」は内容の一部を変更して「春・秋のバラフェア」として開催、夏季の「水遊び広場」は予約制で人数制限を行い実施、「ペットボトルロケット教室」、年明けの「新春たこあげ大会」も感染対策に留意しながら実施した。恒例のJA植木まつりは令和4年度は予定どおり開催され、サッカー大会やマラソン大会等の芝生広場を活用した誘致イベントも計画どおり実施することができた。

また、農業や食への理解を促進するためのカントリーパーク「食農塾」は、幼稚園・保育園等を対象に甘藷、落花生、じゃがいも、大根の収穫等の体験農園を実施し、116団体8,317人（計画比111%）が参加。親子やグループを対象とした石窯ピザづくり等食育体験は自粛傾向であったが、16団体471人の参加があった。公園主催の米粉を使用した料理教室は開催した。

また、公社と連携協定を締結している㈱アスリートクラブ熊本の「きずなCUPプロアッソ熊本サッカー大会」は中止となったが、同じく協定を締結している合志市の「こうし市民まつり」は開催された。

こうした結果、令和4年度の総入園者数は約43万1千人（計画比90%）、有料入園者数約12万7千人（計画比130%）、無料入園者数約30万4千人（計画比80%）の実績となった。

このほか、県民参加の公園づくりを進める観点から農業公園バラサポーター53名の登録を行い、バラ園管理などに参加いただいた。

#### (1) 入園者実績

（単位：人数、%）

入園者	R4年度計画	R4年度実績	計画比
総入園者	480,000	431,383	90
有料入園者	98,000	127,075	130
無料入園者	382,000	304,308	80

#### (2) 体験農園実績

（単位：延人数、%）

作物	体験内容	R4年度計画	R4年度実績	計画比
体験農園		7,500(115団体)	8,317(116団体)	111
落花生	植付、生育観察、収穫	—	720(9団体)	—
甘藷	植付、生育観察、収穫	—	5,616(70団体)	—
じゃがいも	収穫	—	685(13団体)	—
大根	収穫	—	1,296(24団体)	—

## (3) 食の体験実績

(単位：延人数、%)

項目	R4年度計画	R4年度実績	計画比
食の体験	2,400 (55 団体)	471 (16 団体)	20
石窯ピザづくり等体験	-	436 (14 団体)	-
食の名人等料理教室	-	35 (2 団体)	-

## (4) 主なイベントの開催実績

## ① 自主イベント

イベント名	開催日
春のバラフェア	5月13日～22日
水遊び広場	7月23日～8月26日
夏休み自由研究(ペットボトルロケット教室)	8月7日
秋野菜園芸講習会	8月28日
秋のバラフェア	10月7日～23日
フラワーアレンジ教室	11月5日
新春たこあげ大会	1月8日
接ぎ木教室	1月29日(中止)
体験農園(落花生、甘藷、じゃがいも等)	4月1日～3月31日
石窯ピザづくり等体験	4月1日～3月31日
米粉教室	3月4日
食の名人等料理教室	2月22日

## ② 共催イベント

イベント名	開催日
春のうまかもんフェア	5月14・15・21・22日
秋のうまかもんフェア	10月8・9・15・16・22・23日
きずなCUPロアッソ熊本サッカー大会	12月開催(中止)

## ③ 誘致イベント

イベント名	開催日
竹とんぼ講習会	毎月第一日曜日
謎解きウォーキング	4月2・3日
くまもとロハスマーケット	4月9・10日
はるかぜマーケット	4月16・17日
えびね花展示会	4月16・17日
九州蚤の市	4月23・24日
恐竜パーク	5月～11月土・日・祝日
くぬぎの丘マルシェ	5月3～5日
花卉展示会	5月13～22日
たこ焼き選手権・ハッピーマルシェ	5月14・15日
肥後骨董市	5月14・15日
肉万博・ひまわりマルシェ	5月21・22日
くまもとロハスマーケット	6月4日

キッズサッカー大会・カントリーマーケット	6月11・12日
たまねぎリレーマラソン大会	6月19日
KJリーグサッカー大会	6～3月9回開催
サークルズマルシェ	7月9・10日
寒蘭新芽会山野草展示会	7月10日
東洋蘭新芽展示会	7月17日
キッチンカーマルシェ	7月23・24日
ひまわりマルシェ	8月27・28日
ワンチャンフェス	9月3・4日
子どもの読書会	9月10日
くまもとロハスマーケット	9月24・25日
ボトルフラワー展	10月7～10日
肥後骨董市	10月8・9・15・16日
くまもと唐揚げ選手権・ひまわりマルシェ	10月15・16日
第二幼稚園運動会	10月15日
三菱電機貸切イベント	10月22日
カレー王座決定戦	10月22・23日
城北幼稚園運動会	10月29日
くぬぎの丘マルシェ	10月29・30日
こうし市民まつり	11月6日
ドローンスクール	11月8日
2022 くまもと農業フェア	11月12・13日
寒蘭花展示会	11月12・13日
寒蘭山野草展	11月19・20日
九州蚤の市	11月19・20日
くまもとロハスマーケット	11月26・27日
木育イベント	11月23日
寒蘭花展示会	11月26・27日
TKUジュニアサッカー大会	12月3・4日
ひのくに高等支援学校駅伝大会	12月9日
ハッピーマルシェ	12月10日
多肉植物販売会	12月11日
合志市民健康カントリーマラソン大会	1月7日
さつき盆栽新春展	1月20日～1月29日
第47回JA植木まつり	1月21日～2月20日
肥後骨董市	1月21・22・29・2月4・5・11 12・18日
盆栽の展示	2月4・5日
木育イベント	2月11・12日
キッズ・ジュニアサッカー大会	3月5・6日
第19回無人ヘリコプター安全飛行競技大会	3月7日
木のお話会	3月11日
ハッピーマルシェ	3月18・19日
びっくり宝箱	3月18・19日



#### 4 他団体からの委託事業

##### (1) 家畜人工授精用精液の取引仲介業務受託

家畜改良事業団が取り扱う家畜の精液について、家畜改良事業団と県下の農業団体との間で行われる売買の仲介業務を実施した。

(単位：本、千円、%)

項目	R4年度計画	R4年度実績	計画比
取扱本数	1,200	1,621	135
受託料	200	333	167

## 5 管理部門

公社業務の円滑な運営のため、役員会 6 回（会議開催 3 回、決議省略 3 回）、評議員会 5 回（会議開催 1 回、決議省略 4 回）を開催するとともに庶務経理等の業務を執行した。

### （1）理事会

決議の省略の方法による理事会（令和 4 年 4 月 25 日）

- 第 1 号議案 評議員候補者の推薦について
- 第 2 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について
- 第 3 号議案 評議員会の決議事項について  
※上記議案について理事 8 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 36 回 理事会（令和 4 年 6 月 3 日）

- 第 1 号議案 令和 3 年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について
- 第 2 号議案 令和 3 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書並びに財産目録の承認について
- 第 3 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について  
報告事項 農地中間管理事業評価委員会において出された意見について  
※上記議案について原案のとおり承認された。  
出席理事数 7 名、出席監事数 2 名

決議の省略の方法による理事会（令和 4 年 9 月 20 日）

- 第 1 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について
- 第 2 号議案 評議員会の決議事項について  
※上記議案について理事 9 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 37 回 理事会（令和 4 年 11 月 18 日）

- 第 1 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- 第 2 号議案 公益法人業務に係る変更認定申請について
- 第 3 号議案 令和 5 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第 4 号議案 諸規程の一部改正について  
報告事項 令和 4 年度上半期における理事長の職務執行状況報告について

令和4年度事業の中間報告について  
財務の状況について  
※上記報告事項について報告された。  
出席理事数6名、出席監事数1名

決議の省略の方法による理事会（令和5年3月7日）

- 第1号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について
- 第2号議案 評議員会の決議事項について  
※上記議案について理事9名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第38回 理事会（令和5年3月24日）

- 第1号議案 令和4年度収支予算書の変更について
- 第2号議案 諸規程の一部改正について
- 第3号議案 役員賠償責任保険契約の締結について
- 第4号議案 理事長の選定について
- 報告事項 令和4年度下半期における理事長の職務執行状況報告について  
令和4年度事業の実績見込みについて  
※上記議案について原案のとおり承認された。  
出席理事数9名、出席監事数2名

(2) 評議員会

決議の省略の方法による評議員会（令和4年5月9日）

- 第1号議案 役員の選任について  
※上記議案について評議員7名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第11回 評議員会（令和4年6月21日）

- 第1号議案 令和3年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録の承認について
- 第2号議案 役員の選任について
- 報告事項 令和3年度事業報告について  
※上記議案について原案のとおり承認された。  
出席評議員数6名

決議の省略の方法による評議員会（令和4年10月4日）

- 第1号議案 役員の選任について

※上記議案について評議員 8 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

決議の省略の方法による評議員会（令和 4 年 12 月 15 日）

第 1 号議案 定款の一部変更について

※上記議案について評議員 8 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

決議の省略の方法による評議員会（令和 5 年 3 月 13 日）

第 1 号議案 役員の選任について

第 2 号議案 定款一部変更の施行期日について

※上記議案について評議員 8 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

(3) 監査（令和 4 年 5 月 31 日）

令和 3 年度財務状況並びに業務執行状況について、公社監事（森哲弥・亀割安博・久保田修）による監査が実施された。